

# "DELETEDB" ; コマンドのSMAまたはSEWMへの影響の理解

## 内容

---

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[背景説明](#)

[動作](#)

[推奨事項](#)

[リレーション情報](#)

---

## はじめに

このドキュメントでは、deletedbコマンドを使用したCisco Secure Email and Web Managerへの影響について説明します。

## 前提条件

### 要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- Ciscoセキュアメール(ESA)
- CiscoセキュアWebアプライアンス(WSA)
- Cisco Secure Email and Web Manager(SMA)

### 使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づいています。

- Cisco Secure Email and Web Manager(SMA)16.0.1

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな(デフォルト)設定で作業を開始しています。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認してください。

## 背景説明

SMA/SEWMのdeletedb CLIコマンドは、メッセージトラッキングおよびレポートデータベースの

消去と再初期化に使用されます。Cisco TACでは、このコマンドの使用には注意を払うことをお勧めします。通常は、データを保持する必要がない場合、クリーンアップ処理中、またはデータベースの問題のトラブルシューティング中に使用します。

## 動作

SMAがESAおよびWSAと統合され、Centralized Reporting and Web Trackingサービスが有効化されている場合、SMAでdiagnostic > reporting > deletedbに移動してcliコマンドdeletedbを実行すると、ESALレポートとWSA Webトラッキングデータの両方が削除されます。

## 推奨事項

1. SMAのディスク領域を解放するためにReporting Servicesのdeletedbを実行する必要性を評価および特定します。
2. SMAでESAおよびWSAと電子メールレポートおよびWebトラッキングサービスが統合されているかどうかを確認します。
3. このようなシナリオでは、deletedbを実行しないでください。ESALレポートまたはWSA Webトラッキングファイルを個別に削除する方法については、Cisco TACにお問い合わせください。

## リレーション情報

[Cisco Secure Email and Web Managerユーザガイド](#)

[シスコのテクニカルサポートとダウンロード](#)

## 翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。